

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 5 月 4 日現在

機関番号：32408

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2012～2013

課題番号：24730434

研究課題名(和文) 東日本大震災及び福島第一原発事故に関する英字メディアの通時的な文脈の比較研究

研究課題名(英文) A comparative news text analysis of the international English media coverage of the aftermath of the Fukushima Daiichi nuclear power plant disaster

研究代表者

酒井 信(Sakai, Makoto)

文教大学・情報学部・准教授

研究者番号：90439232

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,200,000円、(間接経費) 360,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では東日本大震災とその後の福島第一原発事故について、主要な国から選定した英字メディア及び、主要な国際機関、国際NGOが公表しているウェブ上の英字ニュース・テキストの情報を、「類似した文脈」「見解の異なる文脈」「主張のゆらぎ」「日本の復旧・復興への提言」の四点に着目して文脈を整理し、分析した。この成果は、現時点では後述の2つの論文及び2回の国際学会発表で公表している。

研究成果の概要(英文)：This research describes a comparative analysis of international media coverage of the Japan Earthquake, which occurred on March 11, 2011, and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant disaster. It presents a comparative analysis of the differences between the contexts of media reports about Japan after March 11 and addresses the question of what Japan should be in the future. I have already made the result of this research public as two thesises and two international academic conference presentations.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学

キーワード：メディア研究

1. 研究開始当初の背景

私は慶應義塾大学政策・メディア研究科で昭和期から平成期の文化・思想・歴史に関わる文献調査を行い、時間軸を遡る形で「現代日本」について研究を行ってきた。この成果は、博士論文「平成期の価値観と表象に関する研究 - 『成熟なき喪失』の時代の研究 - 」(2009年2月学位取得)にまとめている。この論文で私は、平成期の「価値観と表象」の特徴を捉えるために、かつて江藤淳が提示した「喪失」と表裏一体の「成熟」の概念を踏まえながら、文化的・社会的な様々な「表象」を「価値観」の問題として横断的に考察することを目的とした。この成果を図示すれば左の図1のように要約できる。

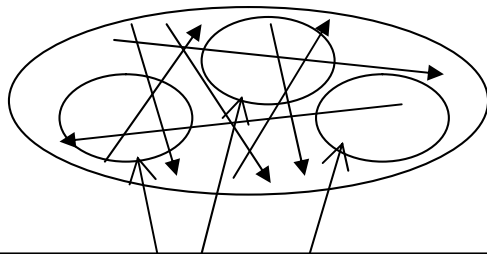


図1 フラット化した社会では人間関係の流動性が高く、不確実性が高いため、確実性の高い親密圏を確保する傾向が再帰的に生じ、親密圏の外側で「成熟」することが困難になる。

また上記のような文献調査を主体とした研究と同時進行で、私は慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所で、ウェブ上の国際メディアが報じる英字ニュースについて解析と分析を行うプロジェクトに従事してきた。具体的には同研究所で「オントロジーに基づくニュース編集ツールの開発他」及び「人間安全保障のための危機管理学に関する研究他」(研究代表・福井弘道教授)のプロジェクトに、助手(2006年度)・助教(2007年度、2008年度)・訪問研究員(2009年度)として従事した。また同研究所では European Commission 下の研究機関である Joint Research Centre と研究協力関係を築き、(社)共同通信社等と共同研究を行った。

本研究では、このような過去の研究経験を

踏まえ、ウェブ上のニュース・サイトで公開されている「震災と原発事故に関するウェブ上の英字ニュース情報」を人力で収集し、通時的な分析を行ったものである。

2. 研究の目的

本研究で分析の対象としたのは、英語で記されたニュース・テキスト情報である。多言語に渡るメディアの分析は、非英語圏の研究者に助言を求めるが、原則としては実施しない。今日では国際的な影響力を持つメディアや機関、団体の多くは、自サイトの中で英字のニュース・テキスト情報を無償公開することが一般化している。営利目的のメディアも一定期間はニュースを無償公開しており、更新頻度は密で、一日当たりの情報量も多い。もちろんこのようにウェブ上で公開される情報には、アメリカ合衆国、イギリスなど英語圏のメディアや機関、団体が多いのが現状である。本研究ではこの点をバイアスとして考慮しつつ、「類似した文脈」「見解の異なる文脈」「主張のブレ」「日本の復旧・復興への提言」の四点に着目して文脈を整理し、妥当性の高さを国や地域毎、機関・団体毎に分析した。上記四点以外にも、文脈の整理は可能であるが、本研究では「国際社会における日本の風評被害の実態」を明らかにすることを目的とするため、上記四点の文脈整理と分析の作業に限定した。

3. 研究の方法

本研究では、英字ニュース・テキスト情報の読解作業を通じた分析だけではなく、サイト内検索や Google ニュースのような横断検索システムなど既存の検索システムを用いて、日本の震災・原発事故に関する特徴的なキーワードを抽出し、キーワードを軸にしたニュース分析を行った。研究期間を通して「類似した文脈」「見解の異なる文脈」「主張のブレ」「日本の復旧・復興への

提言」の四点に着目して情報を整理し、それぞれ分析した内容を、論文や国際学会発表として公開してきた。また国際学会を中心に発表を行った学会で他国の研究者に指摘された論点や問題点を整理しながら、二次的な議論の文脈の整理と分析作業を行った。

前任先の慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所のプロジェクトに従事していたのは2006年度から2009年度にかけてである。現在ではウェブ上で無償公開されるニュース・テキストの量は増え、私たちのプロジェクトが共同通信社と共に開発したようなニュースの集約サイト(World News Ranking System)は珍しいものではなくなっている。また本研究で扱う内容は震災と原発事故の報道に限定している。このため本研究では前任先で行ったようなシステム開発は行わない。

ただ各国のメディアや国際機関、国際NGOなどの民間団体が配信する情報量が増えるに従って、国際社会における報道の文脈を整理し、時系列を追った分析を行うことは困難になっている。このため本研究では、英字ニュース・テキスト情報の読解作業を通じた分析だけではなく、既存のサイト内検索やGoogle ニュースのような横断検索システムを用いて、日本の震災・原発事故に関する特徴的なキーワードを抽出し、キーワードを軸にしたニュースの分析を行った。そして「類似した文脈」「見解の異なる文脈」「主張のブレ」「日本の復旧・復興への提言」の四点に着目してニュース・テキストの文脈を整理した上で、時系列を追った分析を行った。一般にウェブ上のニュース情報は二週間程度で消去される傾向があるが、重要度の高いテキスト情報については印刷してファイリングしておけば、通時的な分析に利用することができる。

以上の研究方法は、私が大学院で行ってきた「平成日本の表象」についての研究と、グ

ローバルセキュリティ研究所で行ってきた「テキストの定量的な解析と情報質の分析」を総合し、具体事例に則した形で展開するものである。本研究を通して、震災と原発事故に関する情報を時空間毎に整理し、国際社会における日本の風評被害の実態を明らかにすることを目指した。ウェブ上の英字ニュース情報から文脈を抽出する方法論については、前述のEuropean Commission下の研究機関であるJoint Research Centreの公開論文を参考にした*1。

また本研究のプロトタイプとなる研究は、「A comparative analysis of the international media coverage of the 2011 Tohoku Earthquake and Tsunami and the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant disaster」(ACROSS LANGUAGES AND CULTURES、2011年9月、ヴェネチア大学)の学会発表及び「世界が目撃したフクシマ」(「新潮45」2011年5月号)の論文で、すでに公表している。

*1 Pouliquen B, Steinberger R, Ignat C, de Groeve T. Geographical Information Recognition and Visualisation in Texts Written in Various Languages. In: Proceedings of the 19th Annual ACM Symposium on Applied Computing (SAC'2004), Special Track on Information Access and Retrieval (SACIAR), vol. 2, pp. 1051-1058

4. 研究成果

本研究では東日本大震災とその後の福島第一原発事故について、主要な国から選定した英字メディア及び、主要な国際機関、国際NGOが公表しているウェブ上の英字ニュース・テキストの情報を分析の対象とした。そして対象となるニュースを、「類似した文脈」「見解の異なる文脈」「主張のゆらぎ」「日本の復旧・復興への提言」の四点に着目して文脈を整理し、分析した。また本研究

では、英字ニュース・テキスト情報の読解作業を通じた分析だけではなく、既存の検索システムを用いて、日本の震災・原発事故に関する特徴的なキーワードを抽出し、キーワードを軸にしたニュース分析も行い、上述の四点の分析と合わせてその分析内容をまとめ、論文や学会発表の原稿に反映した。以下の通り、これらの成果の一部は、すでに論文及び学会発表に反映し、公表している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計2件)

酒井信「海外メディアから見た自由民主党政権」(査読有り、単著)2013年5月30日
風媒社、アリーナ(中部大学総合学術研究院編)No.15 該当頁:P 377-389

この論文は、メディア研究という学問区分において海外メディアの比較分析を行う意味と方法論について考察した上で、2012年末から2013年初頭にかけての自由民主党政権に関する海外のメディア報道を比較分析したものである。この論文では安倍政権成立時の海外メディアの報道から、特徴的な報道をピックアップし、特に原発再稼働に関する報道に関して重点を置いた分析を行った。該当頁:P 377-389

酒井信「安倍新政権『海図なき航海』 海外メディアはどう見ているか」(査読無し、単著)2013年1月18日
新潮社、「新潮45」第32巻2号、該当頁:P50-55

(概要)この論文では、2012年末「日本を、取り戻す」というスローガンを掲げて政権与党に返り咲いた安倍晋三率いる自民党について、海外のメディアがどのような報道を行っていたのか、一ヶ月ほどの時間を区切

って比較分析を試みたものである。海外から見れば、日本は依然として「世界三位の経済大国」であり、原発を再稼働させ経済復興を行うことについては、先進国の経済誌や東南アジア地域のメディア報道において期待が高いことが分かった。海外のメディア報道を分析すると、日本で考えられている以上に、日本の経済復興が、世界経済が復興するための必要条件として期待されていると結論付けた。

[学会発表](計2件)

Makoto Sakai「A comparative news-text analysis of the international English media coverage of the aftermath of the Fukushima Daiichi nuclear power plant disaster」(有審査、口頭発表、単独)International Conference on Language and Communication, the Graduate School of Language and Communication, National Institute of Development Administration, Bangkok, Thailand

(概要)タイのバンコクにある研究機関兼大学院大学のタイ国立開発行政研究院で行われた言語とコミュニケーションに関する国際学会で、福島第一原発の核被害と風評被害の現状について、通時的な分析を行った成果について発表を行った。

Makoto Sakai「IT revolution and regulation in Japan」(有審査、口頭発表、単独)
From Discrimination to Empowerment, The University of Trieste, Trieste, Italy
2012年4月

(概要)イタリアのトリエステにある国立トリエステ大学で、日本において情報技術の革新が引き起こしている問題と、情報公開やウェブ上の議論を健全なものとするために必要とされる最小限の規制のあり方について、

考察した内容を発表した。福島第一原発事故に関するウェブ上の風評被害についても考察した内容を発表した。

6 . 研究組織

(1)研究代表者

酒井 信 (SAKAI Makoto)

文教大学・情報学部メディア表現学科・准教授

研究者番号：90439232